

登録コード	F3A57220	開講年度	2026				
授業科目	感覚生理学					担当教員	上條 正義
英文授業名	Sensory Physiology					副担当	吉田 宏昭
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	月曜・1時限	対象学生	先進繊維・感性工学科2年生
講義室	繊維2 8 番講義室			授業形態	講義	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー 非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2 4 Fカリ・先進感性						
	【2023年度以降カリキュラム対象】繊維関連製品群に関する情報を収集・分析し、発信する能力					繊維関連製品群に関する情報を収集・分析し、社会に対して発信できるようになる	
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生、健康長寿						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	人間の感覚器や生理機能について学び、光や音、匂い、味、熱などの外界からの刺激がどのような仕組みで知覚・認識されているかを理解する。感覚器を規範としたセンシングシステムについて理解する。						
(5)授業計画	90分授業で実施する。 学期最後の授業において、最後の15分は授業アンケートに回答するための時間とする。 第1回 神経の種類としくみ 第2回 視覚(基礎) 第3回 視覚(応用) 第4回 色覚(基礎) 第5回 色覚(応用) 第6回 触覚 第7回 温度感覚 第8回 理解度を確認する課題の実施 第9回 反射と動作のしくみ 第10回 痛覚 第11回 圧覚 第12回 嗅覚 第13回 平衡感覚 第14回 聴覚 第15回 味覚						
(6)成績評価の方法	人の知覚メカニズムと感覚器を規範に作られたセンシングシステムの仕組みについての理解度を問う試験の点数と演習やレポートの内容から評価する。						
(7)成績評価の基準	授業で講義した内容が 十分に理解し、卓越した水準にあれば「秀」 十分に理解し、かなり上の水準にあれば「優」 理解し、やや上の水準にあれば「良」 理解し、水準にあれば「可」 理解不足で水準より下であれば「不可(D)」 全く理解できていない水準であれば「不可(F)」						
(8)事前事後学習の内容	この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って、60時間以上の時間外学習が必要となります。授業中にノートに記載した内容を参考書で補いながら自分の学習ノートを作るようにしてください。						
(9)履修上の注意	履修する授業の全ての回に出席することを基本とします。 授業でお話することで重要と思う点をメモする癖をつけてください。人体の機能を理解することを狙ってパワーポイントで表示する図をスケッチしてもらいます。 スケッチする時間は十分にとる予定ですが、時間に限りがありますので、集中して授業を受けてください。						
(10)質問、相談への対応	授業中、授業後に直接質問してください。						
(11)学生へのメッセージ	からだのしくみを知ることは、個人対応型のモノづくりに不可欠な知識です。感性工学の基礎となります。						
(12)その他							
【教科書】	指定しない						
【参考書】	しくみと病気がわかるからだの事典 田沼久美子他 成美堂出版 (1600円) 新・生理心理学1,2,3 山崎勝男他 北大路書房 (各3780円) 初学者のための生体機能の測り方 日本出版サービス (3240円)						